

ダービー王・吉田拓矢が凱旋

取手競輪場開設75周年記念「水戸黄門賞」は、5月31日、6月3日の日程で開催される。今シリーズはダービーで主役を演じた吉田拓矢の凱旋レース。関東勢は吉田Vの立役者になった眞杉匠、杉森輝大、佐々木悠葵と強大な戦力を誇るだけに、吉田が地元ファンの期待に応える可能性は高い。だが、エースの郡司浩平の参加が決まって南関東も厚みを増して打倒関東勢は十分。さらにダービーで躍動した藤井侑吾もいるので、波乱の余地もありそう。また、最終日第9レースにおいて、レインボーカップ・チャレンジャーが行われる。チャレンジャーの頂点を決める一発勝負にも注目だ。



吉田拓矢

た地元の吉田拓矢が優勝候補の筆頭だ。今年は初戦の1月立川記念で落車し鎖骨を骨折。いきなり約1カ月半の欠場を余儀なくされたものの、欠場前よりも力を付けてバンクに戻ってきた。全日本選抜で決勝に乗ると、3月玉野記念は単騎ながら豪快なまくりを決めてV。さらにダービーの決勝では、連係実績の豊富な眞杉匠のまくりを差し、21年の競輪祭以来となるG1制覇を達成した。ここはダービーでタッグを組んだ眞杉をはじめ、杉森

輝大、佐々木悠葵らと関東勢は充実のラインナップ。昨年に続いての大会連覇に向けて視界は良好だ。眞杉は快調そのもので、ビッグレースで大活躍。全日本選抜では準決1着で決勝に乗ると、ウィナーズカップ、ダービーは続けて準V。ウィナーズカップは快速まくりを放つも、古性優の鮮やかなブロックに止められた。ダービーも直線で菅田吉と接触して、ともに悔しい結果に終わったとはいえ、どちらも勝っておかしくないレース内容だった。地元の5月宇都宮記念は、準決で無念の1失を喫したが、評価を下げる必要はあるまい。また、地元勢は吉田拓、杉森だけでない。兄とはタイプが異なる徹底先行として信頼を集める吉田有希。ガッツメーカー・芦澤大輔、辰弘兄弟。宇都宮記念で3勝と古豪健在を示した武田豊樹。さらに木村皆斗、小畑勝広の機動型。それぞれの持ち場で力を発揮して大会を盛り上げる。

だが、南関東の絶対エース・郡司浩平の追加参戦で関東勢独走ムードに待ったがかかった。郡司は5月平塚記念で今年4度目の記念制覇。平塚の優勝は

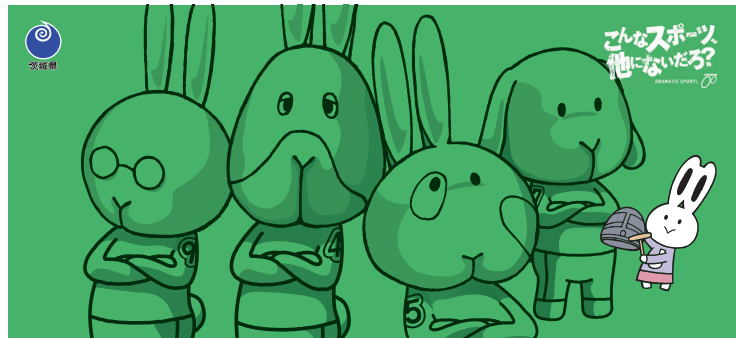


郡司浩平

深谷知の先行に乗ったものの、自力で戦っても強くて全く隙が無い。ここは松井宏佑や佐々木眞也と同乗なら前を任せて記念3連覇を目指す。松井はダービーの準決で郡司の前を回って自身は3着も不完全燃焼のレースに終わったので、平塚記念での落車の影響がなければ奮起の走りが期待できる。和田健太郎も神奈川勢に加勢して南関東ラインをより強固なものとしよう。

注目株は藤井侑吾だ。ダービー⑤①②②着。一次予選は内に詰まってしまい、まったく力を出せずに終わったものの、2走目以降は機動力を遺憾なく発揮して3連対を果たしている。中部勢はライン手薄の不利はあるが、しっかりとラインが形成されるようなら怖い。

山崎芳仁、佐藤慎太郎、成田和也と百戦錬磨のベテランがそろった福島勢も侮れない。佐藤はまだ落車負傷の後遺症が残っているようだが、山崎、成田は順調で、ダービーでは決に駒を進めている。



取手競輪開設75周年記念 水戸黄門賞GIII 2025.5/31日 6/1日 2回 3回



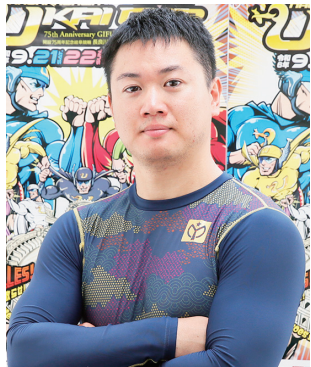
眞杉匠

Table with 10 columns: Rider Name, Registration, Race Class, Race Number, Recent 4-month performance, Recent 12-month performance, and Odds. Includes a sidebar with rider profiles and a race schedule for May 23, 2025.

Table with 10 columns: Rider Name, Registration, Race Class, Race Number, Recent 4-month performance, Recent 12-month performance, and Odds. Includes a sidebar with rider profiles and a race schedule for May 23, 2025.

木村 皆斗 (茨城/119期)

機動力に一段と磨きがかかり、5月岸和田では3連勝でS級初Vを達成。再三に渡るブロックを受けながらも、まくり切った決勝は力強かった。地元記念で大暴れが期待できる。



松本 秀之介 (熊本/117期)

ここに来て動きが良くなってきた。ダービーでは選抜戦ながら快速まくりを決めて1勝すると、5月平塚記念は1①②着で決勝進出と大活躍を演じた。仕掛けがツボにはまると怖い。



櫻井 祐太郎 (宮城/117期)

先行基本の競走で着実に力を付けてきた。3月別府で念願のS級初Vを飾ると、4月川崎記念では1⑥①③着と逃げ切りで2勝。一次予選は主力になるし、二次予選でも侮れない。



レインボーカップチャレンジファイナル

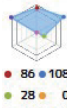
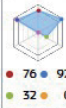
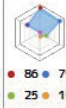
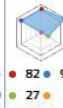
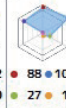
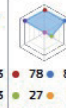
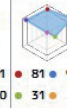
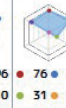
中島淳に期待も大接戦だ



中島 淳

3着までに入った選手が特班する期末恒例の一戦。ただし、今回は全員が7月からの2班昇格を決めていて純粹にチャレンジ最強を決するレースとなる。しかも、ラインができるなら中島淳に、貝原涼太が付いて4月岸和田決勝に続く連係が実現する場合くらいで、同県であつても別々に戦う可能性が高く、個の争いの色が濃い。どこからでも狙えるが、勢いなら中島が一番だ。3月小松島から怒濤のVラッシュ。積極性も申し分ないが、決勝では一転して冷静にレースを運べている印象で、早期卒業生の市田龍との2度にわたる対決も含め経験を積んできた成果が感じ取れる。力を付けてきている貝原が援軍に回ればさらに優位に立てそう。

超細切れ戦でも勇氣を持つて先手を握つて勝負をしそうなのが藤井優希だ。『ド先行』を看板にしているのはダテではなく、自分の競走を貫いて今年は3Vを遂げている。仕掛けのタイミング次第では敵の反撃を合わせ切るし、場合によっては後続のモツれも見込める。

主力選手プロフィール									※ 2025年05月23日時点 直近12場所成績
									
船山 真生 フナヤマ マコ	森 征斗 モリ シン	藤井 優希 フジイ ユウキ	野村 賢 ノムラ ケン	久田 朔 キウダ ハク	弓矢 輪太郎 ユウヤ リンタロウ	梅澤 忠秀 ウメザワ ユウシュウ	中島 淳 ナカジマ ジュン	貝原 涼太 カイハラ リョウタ	
21	25	26	21	21	21	23	25	27	
125期 A3	125期 A3	125期 A3	125期 A3	125期 A3	125期 A3	125期 A3	125期 A3	125期 A3	
78.40 78.54 78.61	78.28 77.00 78.33	78.81 77.28 78.78	77.70 78.67 77.97	78.61 79.24 78.74	78.76 78.79 78.86	78.00 76.09 78.00	79.20 78.05 79.06	78.20 76.17 77.95	
②③④⑤ 11	①②③④ 7	①②③④ 8	①②③④ 18	②③④⑤ 6	①②③④ 6	①②③④ 25	①②③④ 11	①②③④ 15	
									
● 86 ● 108 ● 28 ● 0 ● 2 ● 105	● 76 ● 92 ● 52 ● 0 ● 2 ● 88	● 86 ● 79 ● 25 ● 15 ● 1 ● 52	● 80 ● 95 ● 26 ● 0 ● 1 ● 96	● 82 ● 92 ● 27 ● 13 ● 1 ● 85	● 88 ● 103 ● 27 ● 13 ● 2 ● 78	● 78 ● 81 ● 27 ● 0 ● 1 ● 81	● 81 ● 96 ● 31 ● 0 ● 2 ● 87	● 76 ● 85 ● 31 ● 0 ● 1 ● 71	
16 13 3 0 1 11 2 0	12 12 4 1 1 10 3 0	26 3 0 0 2 0 0 0	19 10 1 0 1 7 1 0	17 10 0 0 1 7 0 0	17 13 1 1 1 5 1 1	21 4 3 1 3 2 0 0	18 10 3 1 1 6 0 2 0	21 3 2 0 1 3 2 0	
									
出36 26 6 0 4	出36 24 5 3 4	出36 23 6 3 4	出35 22 8 1 4	出30 24 3 1 2	出36 22 10 3 1	出36 20 9 2 5	出36 28 4 1 3	出36 18 8 7 3	
2期 1期 小松 大宮 1 1 2	2期 2期 小松 大宮 1 1 1	12期 12期 小松 大宮 1 1 1	11期 12期 小松 大宮 1 1 1	12期 11期 小松 大宮 2 1 1	2期 2期 小松 大宮 1 1 1	2期 2期 小松 大宮 1 1 1	2期 28期 小松 大宮 1 1 1	2期 1期 小松 大宮 1 1 2	
① ① ①	① ⑤ ②	② ④ ①	① ① ①	① ① ①	① ① ①	① ③ ①	① ① ①	③ ② ②	
② ① ①	② ① ①	② ④ ①	① ③ ①	① ③ ①	② ③ ②	① ② ④	① ② ④	③ ② ③	
3期 2期 小松 大宮 1 1 1	3期 3期 小松 大宮 1 1 1	3期 3期 小松 大宮 1 1 1	2期 1期 小松 大宮 1 1 1	1期 3期 小松 大宮 2 1 2	2期 2期 小松 大宮 1 1 1	2期 2期 小松 大宮 1 1 1	3期 3期 小松 大宮 1 1 1	2期 2期 小松 大宮 2 1 1	
② ① ①	① ① ①	① ① ①	② ① ②	② ① ②	① ① ①	① ① ①	① ① ①	① ① ①	
① ④ ④	③ ③ ②	① ② ③	⑥ ⑤ ①	② ① ①	① ② ②	④ ② ②	① ① ①	③ ② ③	
4期 3期 小松 大宮 1 1 1	4期 4期 小松 大宮 1 1 1	4期 4期 小松 大宮 1 1 1	4期 3期 小松 大宮 1 1 1	3期 3期 小松 大宮 1 1 1	4期 4期 小松 大宮 1 1 1	4期 4期 小松 大宮 1 1 1	4期 4期 小松 大宮 1 1 1	4期 3期 小松 大宮 1 1 1	
① ② ①	② ① ①	② ① ①	① ① 止	① ① 止	③ ① ①	① ② ①	① ① ①	② ① ②	
① ① ①	④ ① ①	② ① ②	⑥ ⑤ ①	② ① ①	② ② ③	② ② ③	① ① ①	④ ⑥ ③	
647万 逃獲	853万 逃獲	488万 逃獲	516万 逃獲	351万 逃獲	756万 逃獲	604万 逃獲	665万 逃獲	702万 逃獲	
資金 順法	資金 順法	資金 順法	資金 順法	資金 順法	資金 順法	資金 順法	資金 順法	資金 順法	



藤井 優希

勝負強さという点では船山真生が最も怖い存在だ。昨年6V、今年6Vと特班していてもいような成績もさることながら、岡部陸、角田光の特班阻止に絡むなどキラりぶりを発揮しているのも強調材料になろう。森柁斗は柔軟な面も持ち合わせていて、同県同期の小川三の番手を回ってのVもあるが果たしてこは？

考えてレースを組み立ててくる弓矢輪太郎にも魅力を感じる。今年は5月平塚の決勝以外も確定板を外していないように安定感はいかいます。超細切れ戦ではより真価を発揮しよう。

4月から40日余りの長欠があったので狙いを下げるが、スピード勝負になれば久田朔に軍配が上がりそう。デビュー直後の8月に早くも特班ヘリーチを懸けて注目を集めた久田は、今年3月にも特班ヘトライ。タテ攻撃の切れならこのメンバーの中でも一番だろう。

野村賢、梅澤忠秀は脚力の割に単騎戦はモロい印象がある。そのイメージは覆したい。